

卓越大学院プログラム現地視察報告書(令和6年度)

卓越大学院プログラム委員会

機 関 名	九州大学	整 理 番 号	2004
プログラム名称	マス・フォア・イノベーション卓越大学院		
プログラム責任者	廣島 文生	プログラムコーディネーター	佐伯 修
1. 進捗状況概要 ・九州大学は VISION2030 と銘打った大学院改革の実現に向けた8つのビジョンを打ち出しており、分野融合型学位プログラムの展開による社会的課題の解決を牽引できる博士人材の育成を教育の中心に位置付けている。3 学府が連携して設立された「マス・フォア・イノベーション連係学府」はこうした大学院改革のフラッグシップモデルとなっている。 ・プログラムは全般的に順調に進捗しており、令和5年度には3名が博士号を取得している他、アカデミア、企業への就職などキャリアパスも順調である。 ・KPI についてもほとんどの項目、とりわけ研究力強化の項目、国際会議の発表者数、国際ジャーナルへの掲載数、受賞件数は目標値を大きく上回っており KPI をさらに引上げることを検討するなどキャリアパス拡充、研究力強化ともに大きな進展をみせている。 ・メンター制度も充実しており、特に学生と同世代のポスドクによるヤングメンターによるきめ細かなサポートは、数理学専門以外の学生の数学力強化に貢献している。さらに学生等へのアンケートを行うことなどで PDCA を回しきめ細かくプログラムの拡充、学生支援を図っている。学振特別研究員採択支援も継続している。 ・共創力強化インターシップについては、特に国際、産学のインターンシップが増えており、学生の海外派遣数の増加、海外協力機関との連携も進み、人材育成に大きく貢献している。さらに、海外トップスクールの学生の学位取得留学も今後増える見込みである。 ・外部資金の獲得については、企業からの問い合わせも増加しており、社会へのアウトリーチも活発化している。卓越社会人博士課程制度でも新たな企業が手を挙げている。 【大学院教育全体の改革への取組状況】 ・大学院改革については、総合知で社会変革を牽引する大学として大学院教育全体の改革に取り組んでおり、そのなかで当該卓越大学院は中心に位置付けられている。大学院教育改革として「未来人材育成機構」を設置し、高大接続、学部教育、大学院教育、企業との連携を中心に一貫性のある人材養成プログラムを展開している。 ・当該プログラムは、研究科等連係課程制度を活用し、数理・システム情報科学・経済の3学府を協力学府として、「マス・フォア・イノベーション連係学府」を設置し、総合知で社会変革を牽引する大学として、令和7年度にも人文情報連係学府を設置する予定となるなど、大学院改革全体の核となっている。さらに、「卓越大学院プログラムの今後を考える TF」を設置し、特に企業との連携強化等について検討を重ねている。 2. 意見（改善を要する点、実施した助言等） ・女子学生、中国以外からの留学生の増大にも力を入れて欲しい。 ・キャリアパスも拡充していることからこうした実績を社会的によりアピールし、入学者の増大に繋げて欲しい。			